

警察電話回線の維持

現状把握・課題

警察では、全国のあらゆる事件・事故、災害に迅速に対応するため、警察の「神経系統」である警察情報通信基盤を整備しており、この基盤において、警察庁、管区警察局、警察本部、警察署を結ぶ全国的なネットワークを構成している。

- 今後、警察業務のデジタル化に伴い、必要帯域の増速が見込まれている。
- 捜査情報や運転免許証等に係る個人情報等、厳格な取扱いが求められる情報を多く扱っていることから、警察が活用するネットワークにはセキュリティ対策が不可欠である。
- 電気通信事業者における通信障害は発生から復旧まで数時間かかるところ、警察業務に間隙を生じさせないためには、警察が利用する回線については、優先的に復旧してもらう必要がある。

【課題設定】

- 24時間365日
警察通信を確保する
- ・帯域の確保
 - ・セキュリティの確保
 - ・サービスレベルの確保

インプット

	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3
予算額	4,090	3,700	3,636	4,678	4,255	4,387

(単位：百万円)

アクティビティ

警察専用回線の維持

※ 契約時に回線稼働率や障害発生時の保守等について定めている。

アウトプット

帯域、セキュリティ及びサービスレベルを確保した上で必要な回線数を確保

[確保した回線数]

	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3
見込み	6,328	6,173	5,498	6,259	6,772	6,957
実績	6,180	6,139	5,614	5,576	6,947	

アウトカム

- ・ 一般回線との隔絶により、一般回線輻輳時でも影響を受けることなく、警察業務に必要な帯域を確保。
- ・ 警察専用回線の利用により、他者からの伝送路への侵入や取り扱うデータ漏洩を防止。
- ・ 電気通信事業者の回線障害発生時において、優先的な復旧を求める保守サービスの提供を受けることで、り障時間を短縮し、警察業務への影響を最小化。

[疎通率(=(総稼働時間-り障時間*)/総稼働時間(%))]

	H28	H29	H30	H31/R1	R2
目標	100%	100%	100%	100%	100%
実績	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%

※ り障時間…障害発生時から復旧までの時間

インパクト

確実な情報伝達による円滑な警察業務の遂行